

テーマ：『 鶴巻地域の自然を生かした環境教育 』

秦野市立 鶴巻小学校

Tel. 0463-78-3262 担当者： 小出 昭一



■実践内容:

これまで実践してきた愛鳥活動を中心とした環境教育をさらに発展させていくことを目指して、学区にある自然環境全体に目を向け、親しむ・知る・広める・護る活動を展開していくことに取り組んできました。夏休みわくわく体験では、4年生以上が参加し、地域の善波川で「魚とり」を体験しました。アブラハヤ・ドジョウ・ヨシノボリ・オイカワ・アメリカザリガニ・ヤゴ・ミズノカマキリなどの生き物をつかまえたり、観察したりしました。5年生は、総合的な学習の時間に、地域の農家の方々やJA職員の協力のもと、「米作り」を体験しました。6月から田植え、草取り、かかし作り、9月末に稲刈りを行いました。1年生は、その様子を生活科のまち探検の学習で見学しました。また、2年生の「弘法山へ行こう」(生活科)、3年生の里地の昆虫調べ(総合的な学習の時間)など、カリキュラムに位置付けて体験活動を行いました。

■実践成果:

「魚とり」では、身近な生き物の生態を知り、地域の自然に親しみを持つことができました。「米作り」では、地域や保護者の協力もあり、収穫の喜びを共有・共感しました。また、完成した野鳥ガイドブックを全児童に配付し、野鳥観察などに活用することができました。こうした体験を通して、地域の自然を知り、その環境の大切さを知ることができました。

■実践ポイント:

この学区の特色である丘陵、田、畑、川、温泉街などの様々な自然環境条件の違いを感じることで、そのよさに気づき、環境問題への意識を高めていけるように、体験活動を地道に継続していくことが大切であると考えています。